

全道避難計画ができないなら再稼働を認めないで!

拝啓 北海道知事殿

あなたには、知事として北海道民全員の命と暮らしを守る責務があります。泊原子力発電所に万が一事故が発生した場合、北海道全域の道民が避難しなくてはなりません。福島第一原発の事故では、半径250キロメートルの住民に危機一髪のところまで被害が迫っていました。この事実には福井地裁でも認められました。西風の吹く北海道では全道に被害が広がるでしょう。しかし、全道の市町村では避難訓練はおろか、北海道による避難計画すら立てられていないのです。私たちは事故が発生した場合、避難する場所すらありません。

知事、あなたは泊原発で絶対に事故は発生しないと切り切れますか？

北海道電力は原子力規制委員会に泊原発の再稼働を求め、現在審査が進められています。仮に審査に「合格」したとしても、規制委員会の委員長は「新規制基準に適合したというだけで、安全とは言っていません。」と自ら繰りかえしているのです。

知事、原発事故は人々の命と暮らしを根こそぎ奪います。野も山も川も海も汚染され、北海道の基幹産業である農業・水産業・観光業なども壊滅します。万一原発事故がおきたら、多くの道民の命と暮らしが失われるのです。知事、あなたはたとえ原発に賛成でも、避難計画すらできていない現状で、決して再稼働を認めてはなりません。「やむを得ず、苦渋の決断による再稼働」などあり得ないのです。避難計画を作るのは、知事、あなたの義務です。

知事、あなたに求めます。あなたは北海道全体の避難計画ができないければ、道民の命と暮らしを守るために、そしてこの北海道の大地を守るために、泊原発の再稼働を認めてはなりません。

署名集約団体
泊原発の
廃炉を
めざす会



〒060-0808 札幌市北区北8条西6丁目2-23-806

電話 011-594-8454 (月・水・金 午前10時～午後1時まで)

団体名

年 月 日

氏 名	住 所

* 個人情報は署名集約団体において適切に管理し、署名以外の目的では使用いたしません。

お願い お手数ですが、署名用紙は自筆のうえ、郵送もしくは事務所までお届けください。